

# NEWS LETTER vol. 10 <2008年1月号>

## ■【トピックス】

### 新春第1号は、通算10号です！



明けましておめでとうございます。新春の第1号が、ちょうど通算10号ということになりました。

昨年は、世界的な原油高や米国のサブプライムローンなど経済的に大きな変動があった1年でした。

果たして今年はどんな1年になることでしょうか？大いに期待しましょう！

それに、今年は大きなイベントとして8月に北京オリンピックもあります。日本人選手の活躍を期待したいですね。

## ■【ビジネス・アイ】

### 人事制度（その2）

社長 「実は、今、保険会社から保険料が全額税務上も費用になる従業員の退職金支払いに備えるための保険を勧められているところなんだよ」

花野 「でも、すでに御社は中退共（中小企業退職金共済制度）で、従業員の退職金に備えていますよね」

社長 「それなんだけど、中退共だと予定運用利回りが1%だけど、生命保険を活用すると結構いい利回りで回りそうなんだ、何かリスクはあるかな？」

花野 「まず、第1に中退共から生命保険には移行できないということがあります。もし中退共を中途解約すると給付金は従業員へ直接支払われて会社へは戻ってきません」

社長 「掛金は会社が支払っているのに戻ってこないの？」

花野 「そうなんです。それから勧められている保険も今は損金算入が認められていても何時ダメになるから分からないというリスクもあります」

社長 「そんな上手い話を税務署が放っておくはずがないよね」

花野 「それに保険の場合、黒字決算が前提の利回りですから、赤字になるとメリットもなくなります。黒字を出し続けられるなら、中退共にプラスして保険も良いか知れません。」

社長 「それなら当面は、中退共を基本にして、業績を安定させることを優先させることにするよ」

## ■【今月のキーワード】

### 中退共（中小企業退職金共済）

中小企業退職金共済法という法律に基づいた国の制度で、中小企業であれば、毎月5千円/人から3万円/人の掛金で利用することができます。

中小企業にとっては、掛金は税務上費用になるし、毎月の掛金以外に追加の負担もありません。それに国などからの補助もあります。

平成19年10月現在、38万の企業で292万人の人が加入しています。運用資産額は、約3兆6000億円です。

現在の予定運用利回りは1.0%です。

## ■【今月の1冊】

### 『ありふれたビジネスで儲ける』

青木 寿幸 著 アスカ

¥1,400

なかなか示唆に富んだ管理会計の本です。私自身のビジネスの参考になる点もいくつかありました。

また、会計を良く理解していない人にも分かりやすい内容だと思います。

それに事例も豊富で、具体的に、分かりやすく説明しています。

ただ、本のつくりとしてグレーが基調となっている紙面のため、読み辛く感じます。

その点を除けばマネジメントにお勧めの一冊です。



## ■【編集後記】

いよいよ今年も1年が始まりました。長いようで実は短い1年です。いろいろ忙しくなりそうですが、目標を一つ一つ着実に達成していく年にしたいです。

皆様にとりましても良い年の始まりでありますように祈念いたしております。

## 『NEWS LETTER』vol. 10（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2008.1.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦丸ビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>